

# 産学連携の学位プログラムで

あなたの **知** を **博士(工学)** に変えます。  
キャリアアップに繋がります。

## 筑波大学大学院

リスク・レジリエンス工学学位プログラムは  
社会人を積極的に受け入れます。

現代社会にひそむ無数の「リスク」  
有事からしなやかに復旧する「レジリエンス」

リスク・レジリエンス工学学位プログラムでは、  
リスクを工学的方法により分析し、レジリエンス社会の  
実現のために活用できる人材を養成します。

リスク・レジリエンス工学学位プログラムは

- 現代社会で必要とされる4つの研究分野で構成

リスク・レジリエンス基盤

情報システム・セキュリティ

都市防災・社会レジリエンス

環境・エネルギーシステム

- 自立した研究者としての研究能力を養成
- 高度専門職業人としての研究能力と豊かな学識を養成
- 博士後期課程(標準3年間)〈学位:博士(工学)〉
- 修了後には大学の客員教員や非常勤講師として人材育成に携わる道も

学位プログラム:達成すべき能力が明示され、それを修得できるように体系的に設計された新しい教育プログラム



世の中を、  
**リスク**で  
診る。

レジリエンスで、  
未来を見る。



## 協働大学院方式によるハイブリッドな教育システム

本学の専任教員に加え、レジリエンス研究教育推進コンソーシアム(下記)に  
参画する12の企業・研究機関の専門家があなたの知を涵養します。

協働大学院方式

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム



詳しくは <https://r2ec.jp>

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム

### 在学生の声

#### 産業技術総合研究所

高橋 昭彦 さん(博士後期課程在学中)



公的研究機関の研究職として長年勤務しており、ここ数年は、自動車ヒューマンファクター関連の仕事にもつばら携わってきましたが、業務経験の積み上げだけで将来課題に対応する知識基盤と提案力を涵養することに限界を感じるようになり、進学を決意しました。この上で、コンソーシアム参画機関として直属上司が協働大学院教員であることは、非常に幸運でした。アカデミックな研究と業務としての研究は必ずしも方向性が一致しない面もありますが、上司の理解のもと相談しながら、業務遂行を通して博士課程の研究を進めることができる環境にあります。また進学により普段はあまり縁のない分野に触れる機会が増えたのはやはり刺激的であり、自分の業務の立ち位置を再確認できるという意味でも、仕事にフィードバックできます。リスク工学・レジリエンス工学は社会性の高い分野であり、ここで得られた知識と経験を背景として、キャリアの幅を広げたいと考えています。

## リスク・レジリエンス基盤分野

協働大学院教員

### 日本自動車研究所

教授 安部原也 ドライバ行動, 自動車安全性, 自動運転  
教授 内田信行 ヒューマンエラー分析, 自動運転の安全性評価

### 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

准教授 岡部康平 労働災害, 安全設計, 協働ロボット, 介護機器

### 産業技術総合研究所

准教授 佐藤稔久 運転行動の計測・モデル化, 運転の楽しさ

### 大日本印刷株式会社

准教授 佐波晶 再生医療, 不妊治療向け細胞画像解析, 機械学習アルゴリズムの実課題応用における制御

教授 伊藤誠 安全性, 信頼性, ヒューマンファクター  
教授 イリチュ(佐藤)美佳 統計科学, ソフトコンピューティング  
教授 遠藤靖典 クラスタリング, 機械学習, データ解析  
教授 倉橋節也\* 社会シミュレーション, 経営分析, 人工知能  
准教授 木野泰伸\* プロジェクトマネジメント, システム開発  
准教授 古川宏 認知インタフェース, モバイル, 教育・知識  
助教 齊藤裕一 人間機械系, システム安全制御  
助教 高安亮紀 非線形数理モデルの信頼性検証, 数値解析  
助教 三崎広海 計量経済学, ファイナンス, ビッグデータ

専任教員

## 情報システム・セキュリティ分野

協働大学院教員

### セコム株式会社

准教授 島岡政基 認証基盤, トラスト, セキュリティ研究倫理

教授 津田和彦\* 自然言語処理, 情報検索, ソフトウェア工学  
教授 吉田健一\* インターネット, 機械学習  
准教授 面和成 ネットワークセキュリティ, 暗号技術の応用  
准教授 片岸一起 現代情報理論, 智慧情報通信ネットワーク  
准教授 西出隆志 公開鍵暗号とその理論, 暗号プロトコル設計

専任教員

## 都市防災・社会レジリエンス分野

協働大学院教員

### 防災科学技術研究所

教授 白田裕一郎 防災情報, 災害動態解析, 意思決定支援  
教授 酒井直樹 災害リスク, IoT/AI, リモートセンシング  
教授 藤原広行 地震・津波に対するハザード・リスク評価

専任教員

教授 鈴木勉 都市解析, 空間情報科学  
教授 谷口綾子 都市交通計画, リスク・コミュニケーション  
准教授 梅本通孝 人的被害軽減のための都市・地域ソフト防災  
助教 木下陽平 衛星測地技術の気象利用, SAR, MaaS 利用

## 環境・エネルギーシステム分野

協働大学院教員

### 産業技術総合研究所

教授 加藤和彦 太陽光発電システム, 火災・感電リスク  
教授 田原聖隆 ライフサイクル評価, インベントリデータベース

### 電力中央研究所

教授 山本博巳 エネルギーシステム分析, 低炭素エネルギー

専任教員

教授 岡島敬一 新エネルギー技術・システム評価  
教授 庄司学 構造信頼性, 地震・津波災害, ライフライン  
教授 羽田野祐子 環境動態, 放射性核種, 福島事故, エアロゾル  
助教 秋元祐太郎 非破壊診断, レジリエンス電源  
助教 鈴木研悟 多主体系モデル分析, ゲーミング, 工学教育

\*印は東京キャンパス常駐教員です。

## 本プログラムの社会人を応援するコンテンツ

### 社会人のための入学試験

- これまでの研究業績や経験を活かせる**社会人特別選抜**を実施します。
- 試験会場は**つくば**と**東京**から選べます。
- 修士の学位を有していない方も、事前の出願資格審査をパスすれば、出願が可能となります。

### 柔軟で多様な学修・研究環境

- 希望する指導教員が所属する機関で、研究指導が受けられます。
- 東京キャンパス常駐教員を指導教員に指名することにより、夜間や土曜日に東京で研究指導を受けられるほか、**昼夜開講プログラム**の申請により、夜間や土曜日に東京で授業も受けられます。
- 研究指導は、**複数指導体制**(3名)により、大学の専任教員と協働大学院教員の両方から指導を受けることもできます。

### 長期・短期の学修計画

- **長期履修制度**を利用すれば、トータルの学費負担は変わらず学修期間を最大5年間に延長できます。
- **早期修了プログラム**により最短1年間で博士号を取得することも可能です。(条件あり)

### 達成度評価によるきめ細かな学修サポート

- 学生ポートフォリオ等の作成を通じて、自らの達成度を確認しつつ学修を進められます。さらに、年2回の個別面談により3名以上の教員から**学修達成度評価**を受け、その結果を学修の改善に役立てることができます。
- 必要に応じて、ご自身の専門に関わる科目のほか、大学院共通科目や他研究群の科目などを受講することもできます。

■ **就学に必要な経費** 検定料：30,000円 入学料：282,000円 授業料：535,800円 (年額)

奨学金制度、研究支援制度、入学料・授業料免除制度等が利用できる場合があります。  
また、ご自身の機関にも支援制度がある場合があります。 ※勤務先就業規程もご確認ください。

博士前期(修士)課程もあります。詳しくはプログラムサイトをご覧ください。 <https://www.risk.tsukuba.ac.jp/>

